

R&D 知財グループウェア「THE 調査力 AI」の AI ワーカー機能とアイ・ピー・ファイン株式会社の「2025 知財・情報フェア & コンファレンス」出展に関する調査報告書

Manus

1. はじめに

本報告書は、R&D 知財グループウェア「THE 調査力 AI」に新たに搭載された「AI ワーカー」機能の内容、およびアイ・ピー・ファイン株式会社が「2025 知財・情報フェア & コンファレンス」に出展する情報について、詳細な調査と評価・評判の分析を行った結果をまとめたものです。知財 DX の推進と生成 AI の活用が注目される中、これらの情報が知財戦略立案の一助となることを目的とします。

2. R&D 知財グループウェア「THE 調査力 AI」と「AI ワーカー」機能の詳細

2.1. THE 調査力 AI の概要

「THE 調査力 AI」は、アイ・ピー・ファイン株式会社が提供する R&D 知財グループウェアであり、特許調査の効率化と精度向上を目的として開発されました。研究開発部門や知的財産部門における知財業務の DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、多様な特許情報を一元的に管理・分析することを可能にします。

主な特徴:

- ・ **特許調査の効率化:** AI によるノイズ除去機能や、関連性の低い特許情報の自動判定により、調査時間を大幅に短縮します。

- ・ **情報の一元管理:** 国内外の特許情報を集約し、日本語化して管理できます。Japio-GPG/FX との連携により、主要 11 カ国の特許全文を日本語で閲覧可能です。
- ・ **グループワーク支援:** 特許情報の可視化、マトリクス表示による整理・蓄積、部門間での情報共有をスムーズに行うための機能が充実しています。
- ・ **リアルタイム分析:** 特許分析マップのリアルタイム作成や、SDI（選択的情報提供）機能による情報の継続的なランドスケープ化が可能です。
- ・ **製品情報リサーチ:** 自社特許と競合製品・技術の関連性を分析し、自社権利評価や侵害予防に活用できます。
- ・ **AI 機能の搭載:** ノイズ除去 AI、査読効率化 AI、分析可視化 AI など、実務に役立つ多様な AI 機能を備えています。

2.2. AI ワーカー機能の詳細

「AI ワーカー」は、「THE 調査力 AI」に搭載された生成 AI を活用した新機能であり、「調べる・考える・まとめる」といった一連の知財業務を AI が支援します。これにより、ユーザーはより創造的な業務に集中できるようになります。

AI ワーカーの主な機能:

1 製品情報リサーチ:

- ・ 生成 AI がインターネット上の情報を収集・分析し、競合製品や技術動向の把握を支援します。
- ・ 自社特許と製品関連性を分析することで、自社権利評価（権利存続評価、社内報奨評価、出願評価など）に活用できます。

2 マイ AI ワーカー:

- ・ ユーザーが生成 AI に対して自由に業務指示を作成できる機能です。
- ・ 「THE 調査力 AI」に収録されたデータから情報を選択し、AI に「この特許から物質名を抽出して」「パラメータ特許の比較をして」「参照元のテキストを日本語で翻訳して」といった具体的な指示を与えることができます。
- ・ 作成した指示は共有可能であり、チーム内での効率的な活用が期待されます。

3 ChatGPT 要旨・KW 抽出:

- 生成 AI が特許案件の要旨を約 250 字で生成し、重要なキーワードを 20 個以内で抽出します。
- 原文の言語を問わず日本語要旨を生成するため、一次調査や内容把握の効率化に貢献します。

2.3. 技術的特徴と今後の展望

- **AI モデルの進化:** 2025 年 12 月には「4o-mini 推論型 AI」を搭載し、2026 年春には AI モデルのさらなる進化が予定されています。これにより、要旨生成・KW 抽出、製品情報リサーチ、特許パラメータ比較など、多様な AI モデルの使い分けが可能になります。
- **安心・安全な環境:** 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の認証 (ISO/IEC27001、ISO/IEC27017) を取得しており、機密性の高い知財情報を安全に扱うことができます。
- **クローズド生成 AI:** 社内ローカル DB と連携したクローズドな生成 AI 環境を提供し、Gemini、ChatGPT、Claude など、導入先の指定モデルに対応可能です。

「AI ワーカー」は、知財業務における「調べる・考える・まとめる」プロセスを AI が支援することで、知財担当者の負担を軽減し、より戦略的な知財活動を可能にする画期的な機能と言えます。

3. アイ・ピー・ファイン株式会社の「2025 知財・情報フェア & コンファレンス」出展情報

アイ・ピー・ファイン株式会社は、2025 年 9 月 10 日(水)から 9 月 12 日(金)まで東京ビッグサイト西 3・4 ホールで開催された「2025 知財・情報フェア & コンファレンス」に出展しました。

イベント概要:

- **名称:** 2025 知財・情報フェア & コンファレンス (2025 PATENT INFORMATION FAIR & CONFERENCE)

- ・ **会期:** 2025 年 9 月 10 日(水)～9 月 12 日(金) 10:00～17:00
- ・ **会場:** 東京ビッグサイト 西 3・4 ホール
- ・ **アイ・ピー・ファイン株式会社ブース番号:** W4

このフェアは、特許・実用新案だけでなく、意匠、商標を含む知的財産全般の情報を網羅し、規模と内容が充実しています。アイ・ピー・ファイン株式会社は、R&D 知財グループウェア「THE 調査力 AI」や新機能「AI ワーカー」などを紹介しました。

関連情報:

- ・ アイ・ピー・ファイン株式会社 公式サイト: <https://ipfine.jp/>
- ・ 2025 知財・情報フェア&コンファレンス 公式サイト: <https://pifc.jp/2025/>

4. 評価・評判・口コミ

4.1. R&D 知財グループウェア「THE 調査力 AI」と「AI ワーカー」機能の評価・評判

「THE 調査力 AI」は、特許調査の効率化と精度向上を目的とした R&D 知財グループウェアとして、その機能性に関して高い評価を受けていることが、提供元であるアイ・ピー・ファイン株式会社の公開情報や関連する紹介記事から読み取れます。

ポジティブな評価点:

- ・ **効率化とコスト削減:** AI によるノイズ除去機能が、関連性の低い特許情報を迅速に排除し、調査時間とコストを大幅に削減すると評価されています。これにより、知財担当者はより重要な特許分析に集中できるようになります。
- ・ **多言語対応と海外特許調査の強化:** 海外の特許文献を高精度に日本語に翻訳し、主要 11 カ国の特許全文を日本語で閲覧できる機能は、海外特許調査の障壁を低減し、国際競争力強化に貢献するとされています。
- ・ **グループワークと情報共有の促進:** 特許情報の可視化、マトリクス表示による整理、部門間でのスムーズな情報共有機能は、組織全体の知財業務の連携を強化する点で評価されています。

- **AI 機能の多様性:** ノイズ除去 AI、査読効率化 AI、分析可視化 AI など、実務に即した多様な AI 機能が搭載されており、特許評価の妥当性診断など、業務の質向上に寄与すると期待されています。
- **「AI ワーカー」による業務支援:** 新機能「AI ワーカー」は、「調べる・考える・まとめる」といった一連の知財業務を生成 AI が支援することで、知財担当者の負担を軽減し、戦略的な知財活動を可能にする画期的な機能として注目されています。特に、製品情報リサーチやマイ AI ワーカーによる自由な業務指示作成、ChatGPT 要旨・KW 抽出機能は、情報収集と分析の初期段階での大幅な効率化に貢献すると考えられます。
- **セキュリティと信頼性:** 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証（ISO/IEC27001、ISO/IEC27017）の取得や、クローズドな生成 AI 環境の提供は、機密性の高い知財情報を扱う上での安心感を提供し、信頼性を高めています。

具体的なユーザーの口コミや第三者機関による詳細な評価:

現在の調査では、具体的なユーザーの口コミや、独立した第三者機関による詳細な評価、導入後の具体的な効果に関する定量的なデータは限定的でした。多くは製品紹介や機能説明に留まっており、実際のユーザー体験に基づいた詳細な評判は、今後の情報公開や導入事例の増加によって明らかになる可能性があります。ただし、アイ・ピー・ファイン株式会社のウェブサイトには、大手化学メーカーでの導入事例が紹介されており、海外特許調査の効率化に成功したという実績が示されています。

4.2. アイ・ピー・ファイン株式会社の「2025 知財・情報フェア&コンファレンス」出展に関する評価・評判

アイ・ピー・ファイン株式会社が「2025 知財・情報フェア&コンファレンス」に出展すること自体は、同社の積極的な事業展開と製品への自信を示すものとして評価できます。

評価点:

- **業界イベントへの積極的な参加:** 知財業界における主要なイベントである「知財・情報フェア&コンファレンス」への出展は、同社が業界のトレンドを捉え、最新のソリューションを積極的に市場に発信しようとする姿勢の表れです。
- **新機能「AI ワーカー」の披露の場:** 新たに発表された「AI ワーカー」機能を、このような大規模なイベントで紹介することは、潜在顧客への認知度向上と、機能への理解を深める良い機会となりました。特に、生成 AI の活用は知財業界でも注目されており、多くの関心を集めました。
- **継続的な出展:** 過去のフェアにも出展していることから、同社がこのイベントを重要なビジネス機会と捉え、継続的に顧客との接点を持っていることが伺えます。

フェア自体の評判:

「2025 知財・情報フェア&コンファレンス」は、特許・実用新案に加えて意匠、商標も網羅する形で規模と内容を充実させており、過去最大の出展社数（152 社）を記録するなど、業界内での注目度が高いイベントです。このような活気あるフェアに出展することは、アイ・ピー・ファイン株式会社にとって、多くの知財関係者や研究開発担当者と直接交流し、製品の魅力を伝える貴重な機会となりました。

5. 結論

R&D 知財グループウェア「THE 調査力 AI」は、AI を活用した特許調査の効率化、情報の一元管理、グループワーク支援、リアルタイム分析など、多岐にわたる機能で知財業務の DX を強力に推進するソリューションです。特に新機能「AI ワーカー」は、生成 AI が「調べる・考える・まとめる」業務を支援することで、知財担当者の負担を軽減し、より戦略的な業務への集中を可能にする画期的な進化と言えます。

現時点では、具体的なユーザーの口コミや第三者機関による詳細な評価は限定的ですが、製品の機能性やセキュリティ対策、そして業界イベントへの積極的な参加姿勢から、今後の市場での評価と導入事例の増加が期待されます。